



岡崎市議会議員

鈴木 ひでき

「いつまでも 安全安心 いきいきと」した 岡崎のまちづくり

発行 鈴木ひでき 後援会 連絡先 〒445-8502 西尾市下羽角町住崎1 TEL0563-55-1167 FAX0563-55-1909

まちづくり
3政策

すこやかな
発展を続ける

おだやかな
暮らしを守る

のびやかな
人生を歩める

今回の報告
事例

政策実現に向けての取り組み

持続的に子ども・高齢者が「使い易い公共施設」に取り組む！

背景

- ◆少子超高齢化社会の進行と人口減少
⇒地域での居場所の重要性が増す
労働人口低下による財源の減少
- ◆学校や地域コミュニティ施設の老朽化
⇒主に築30年を超える施設が占めている
- ◆市民センターの稼働率が低い(平均19%)

私の思い

- ◆コミュニティ施設の利用促進を図る
 - ・誰もが使いやすい施設への規制緩和推進
 - ・複合化や集約化の促進
- ◆「学校施設のあり方」の見直し

私の行動

Step1: 一般質問にて市の方向性を確認

- ・2015.06 「公共施設等総合計画」について
全体方針と残すべき機能を確認

Step2: 「公共施設等に関する」特別委員会を提言

- ・2017.09 会派内に提案しその後 議決される
- 2017.10 委員長として「コミュニティ関連施設」
～2018.09 「子供関連施設」に絞り運営を提言

Step3: 一般質問にて提言に対し進め方を確認

- ・2019.06 利用ニーズ調査を進める回答を得る

提言に対しての行政の回答(9月議会報告抜粋)

コミュニティ・子供関連施設などに関して今後の方向性

施設区分	提言内容	今後の方向性 (回答から抜粋)	評価
全体	当初計画(H28.8)から増加施設に対しての削減目標見直しについて	公共施設縮減目標値の見直しや将来の財政負担を踏まえた検討を進める	◎
	市民へ財政の将来展望をオープンにする仕組みの構築について	次期総合計画(令和3年度から)に財政収支見通しの掲載予定	○
コミュニティ関連	規制緩和等で使いやすい施設について	パブリックコメントの意見等を踏まえ新たな条例制定を目指す	◎
	施設管理の地域負担を含めた実態把握について	管理運営に関する負担調査より約半数学区から負担ありと回答	○
子ども関連	教育関係者との連携ができる組織体制整備について	総合教育会議を活用し様々な立場で検討をする	△
	不足施設については民間施設も活用	公立小中学校のプールは多額の改修費用が必要のため民間スポーツ施設の活用を視野に検討	◎

今後について

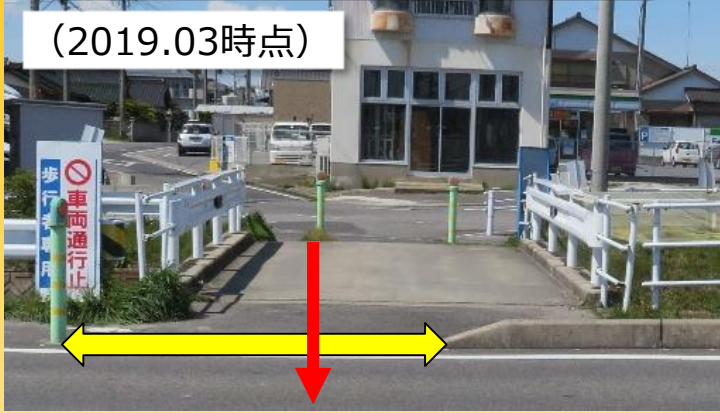
次期総合計画の策定段階で財政見通しや数値目標の確認をします。
運用管理の方向性が変わる施設(市民センター、公立小中学校プール)の情報収集。

歩行者や自転車による飛び出しによる交通事故未然防止を進める

【現地調査で分かった問題点】
歩行者や自転車などが飛び出しやすい状況
・道路横断の規制がされていない
・直進で渡り易い環境となっている(赤線)

【改修整備のスケジュール】
・現地調査(2019.04)
・地域との安全対策の調整(2019.05)
・工事施行(2019.09中旬 工事完了)

(2019.03時点)



(2019.09現在)



ポストコーン(2本)を増設、道路横断を規制し交通事故防止を図る！

【トピックス】10月よりスマホを活用した緊急通報を開始

災害現場映像通報システム(全国初)

Net119緊急通報システム

概要

119番通報者スマートフォン等の、カメラ機能を活用し、指令員が**災害状況を早期に把握**できることや、**傷病者に対し適切な応急処置の指示**ができる。

聴覚・音声・言語機能等の障がいにより、**音声での119番通報が困難な方が、スマートフォン等にて、全国どこでも通報した所在地の消防本部に繋がる。**

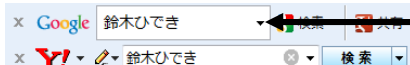
通報の流れ



編集後記

9月定例会の詳細については、下記ドメインまたはQRコードを読んで頂き、市政レポートNo.27 定例会編をご確認願います。

<ホームページのドメイン>
http://www.giin-dnwu.com/suzuki_hideki/



「鈴木 ひでき」検索でも見れます！！

<QRコード>



～9月定例会編の内容～
・防犯対策基金条例の制定
・2020WRC誘致について

市政の話題満載！

